

花巻市文化会館運営審議会会議録

1 開催日時

令和3年2月15日（月）午前10時～午前11時10分

2 開催場所

花巻市文化会館 第7、8会議室

3 出席者

(1) 委員 9名（欠席1名）

多田貢委員（会長）、佐々木和久委員（副会長）、菊池房江委員、祓川りみ子委員、高橋トシ委員、高橋信也委員、千葉恵子委員、及川有子委員、猿舘祐子委員

(2) 事務局（花巻市文化会館）4名

市川清志生涯学習部長、佐々木正晴生涯学習課長、鈴木秀宜館長、中島晴俊上席主査

3 議題（審議事項）

報告事項 コロナ禍での花巻市文化会館の運営状況について

審議事項 令和3年度花巻市文化会館の運営方針について

4 議事録

[佐々木生涯学習課長]

- ・本日の出席委員は9名と委員定数10名の過半数を超えておりますので会議が成立いたしますことを報告いたします。

1. 開会

[佐々木生涯学習課長]

- ・ただ今から、令和2年度第2回花巻市文化会館運営審議会を開会いたします。

2. 挨拶

[多田会長]

- ・新型コロナウイルスがいつ収束するのかわからない状況であり、文化会館の運営はその影響を大きく受けています。文化芸術活動・発表の場が制限されてしまっています。収束まで皆さんで知恵を出し合い、この難局を乗り越えていきたいです。よろしくをお願いします。

[市川生涯学習部長]

- ・忙しいところお集まりいただき感謝いたします。今年から文化会館で税務申告相談が行われます。(以前の会場の)まなび学園は駐車場や交通渋滞の関係で課題が多かったため、今年度から文化会館で税務申告相談が行われることとなりました。
- ・来年は多めに自主事業を計画していますのでご審議いただきたいです。また、来年度は大ホール照明改修工事もあります。
- ・先日の地震については特に問題がなかったようで、当文化会館は丈夫に出来ているものと再認識しました。今後は必要なところを修繕しながら使用していきたいと考えています。新たな事業も進めていくのでよろしくご審議をお願いいたします。

[佐々木生涯学習課長]

- ・それでは、議事に入らせていただきます。
- ・この後の進行は、多田会長に議長をお願いいたします。

3. 議題

報告事項 コロナ禍での花巻市文化会館の運営状況について

審議事項 令和3年度花巻市文化会館の運営方針について

[議長 多田会長]

- ・それでははじめに、「報告事項」について事務局より説明をお願いします。

[鈴木館長]

- ・資料に基づき「コロナ禍での花巻市文化会館の運営状況について」説明

[多田会長]

- ・ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

[菊池委員]

- ・使用料半額減免の実施について利用者はどのくらいあったのでしょうか。

[鈴木館長]

- ・今手元に数字をもっていませんが、半額減免実施により利用者が特段増えたという状況ではありません。使いやすくなったという声はいただいています。

[菊池委員]

- ・利用状況が分かれば我々もコロナ対策・対応をしながら使用していくことができるので教えていただきたいです。

[祓川委員]

- ・私自身の発表会でも出席者の制限や名簿の作成、換気を30分行うなど対応をおこなって開催しました。他の利用者からもよく聞かれるのですが、夜間を利用できない理由はどのようなもののでしょうか。

[鈴木館長]

- ・消毒作業時間の確保と夜間利用を制限することによって拡大を予防するためです。今後、夜間利用を再開する場合は、消毒作業を利用者にもご協力をいただきたいと思いますと考えています。また、現在花巻市では市内施設利用ガイドラインのレベルを「3」に設定しており、文化会館の場合は使用を市民に限定しています。市内外の新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着けば、夜間利用も再開できると考えていますが、現状としてはまだ緩和する状況にないので、この制限が継続されることとなります。

[多田会長]

- ・花巻市は今回の施設利用制限が他市より厳しいという声が聞こえるがどのような考えなののでしょうか。

[市川生涯学習部長]

- ・確かに花巻は厳しめの利用制限となっていると思います。体育館も市民に限定し、大会も東北規模までとしています。しかし、利用制限を緩めると、「利用制限が緩いのではないか」という意見も出てくると思われます。

[佐々木副会長]

- ・なはんプラザでは夜間利用を認めています。そのため、市内ホテルの会議室やまなび学園を会場としていた人たちがなはんプラザ流れてきていると感じます。なはんプラザでは、夜間利用は1区分のみ利用を認めることにして消毒も何とか対応しています。施設ごとに制限が異なるのはやむをえませんが、使用方法について何か工夫をしていく必要があると思います。

[市川生涯学習部長]

- ・施設により使用形態の特徴があります。例えば、まなび学園は大きな公民館のイメージです。この公民館というものは振興センターのイメージになります。振興センターや地域の社会体育館は現在土日、夜間使用ができません。まなび学園はこれと同じような利用形態と考えています。なはんプラザや交流会館は指定管理となっていて指定管理者に頑張って利用を進めていただいています。また、まなび学園はお金がかからないという特性もあり、それぞれの利用形態が違っているというところです。また文化会館は夜間使用できるようにしたいと考えますが、外気取り入れが難しい施設となっていますので、ホールは特に夜間の換気を行うと虫が入るなどあまり良くないと考

えているので夜間使用できないと考えています。皆様からのご意見をもとに利用をすすめていきたいと思えます。

[多田会長]

- ・ワクチン接種の状況にもよりますが、健康第一として利用制限についてご理解をよろしくお願ひしますということになります。
芸術文化活動は1年以上自粛を続けてきています。以前のような活動状況に戻るには時間がかかると思えますが、早く文化会館の利用形態、利用状況が回復することを願ひます。

[多田会長]

- ・それでは次に審議事項の「令和3年度花巻市文化会館の運営方針について」事務局より説明をお願いします。

[鈴木館長]

- ・資料に基づき「令和3年度花巻市文化会館の運営方針について」を説明

[多田会長]

- ・事務局からの説明について質問ありますか。

[猿館委員]

- ・美術展の取り組みは良いと思えます。そのほかの事業もターゲットが明確になっていて、どのような狙いで行おうとしているのかわかって良いと思えます。

[鈴木館長]

- ・自主事業を開催した時に誰が来るものかということ想定しました。どんな方々が来館されるものか想像できるものを開催してこうと思えます。

[鈴木館長]

- ・前回の審議会ではペアチケットの設定など、利用しやすい入場券設定についてのご提案をいただきましたが、来年度は学生料金の設定を増やすことを考えています。催事の形態によって工夫していくよう考えて行きたいです。

[千葉委員]

- ・素晴らしい計画と思えますが、花巻市のコロナ対応ガイドラインのレベルが下がる見込みでの計画なのでしょうか。チケット販売がどこまでできるものか心配です。

[市川生涯学習部長]

- ・新型コロナウイルスの感染状況が今後どうなるかわかりません。しかし、国ではワクチン接種を進めながらオリンピックをやろうとしている状況ですので、これからは花巻市内のガイドラインレベルも低くなって、自主事業等を実施できると考えます。計画を組み、芸術文化振興を進めていきたいと思えます。

[鈴木館長]

- ・新型コロナウイルスへの対応について現場の考え方ですが、団体鑑賞については座席を制限するなど対応に工夫をしてすすめていきたいと考えています。一般鑑賞については、ワクチン接種がどこまで進むのかによって時期的に難しいところもありますが対策を講じながら開催していきたいと考えています。
- ・先ほど質問のありました半額減免に関する利用件数についてお答えします。本年11月分は77件ですが、昨年同月は178件でしたので利用数は半分以下でした。12月は94件ですが昨年同月の利用者数は160件です。11月よりは利用割合が向上していますがまだまだ少ない状況です。

[多田会長]

- ・他に何かあるでしょうか。なければ「令和3年度花巻市文化会館の運営方針について」承認することよろしいでしょうか。

(異議なし)

- ・本件につきましては、承認とします。ご協力ありがとうございました。
- ・以上で議題はすべて終了いたしましたので降壇させていただきます。

4. 閉会

[佐々木生涯学習課長]

- ・以上をもちまして、令和2年度第2回花巻市文化会館運営審議会を閉会いたします。